



キラリ★八代人

女性目線での避難所運営を考える

「防災についてもっと女性にも入り込んでほしい」と話すのは高小原町で防災担当として活動している松村豊子さん。松村さんは熊本地震後、防災士の資格を取得し、町内での防災訓練の運営や地域住民への防災の啓発など防災力の向上に尽力している。

高小原町では年に2回防災訓練を行っている。昨年は地震の避難訓練とAED訓練を実施。近隣の老人ホームや障がい者施設にも協力してもらい「民生委員での経験を生かして、高齢者や障がい者とのパイプ役になれ



松村 豊子さん
(高小原町)

れば」と高齢者や障がい者への配慮も心掛けています。今年は新型コロナウイルスの影響で人が集まっていた訓練ができなかったため、電話を使っての情報伝達の訓練を行った。「今回は町内の役員のみで行ったが、将来的には人数を増やして、連絡を受けた人が支援を必要とする人へ迅速に声掛けを行えるようにしたい」と意気込む。

防災の会議や勉強会では女性の参加者は松村さん1人ということがほとんど。会議では女性の目線から意見を求められることが多く、女性の意見の重要性を感じている。「避難所での更衣室やトイレ、洗濯物などは女性目線での気配りが必要。また、妊娠中や乳幼児を持つお母さんへの対応は女性なので、寄り添える部分が多くある」と防災での女性の必要性について話す。

「多くの女性が防災担当になってそれぞれの校区、町で活躍することが地域の防災力になる」と話す松村さんは、女性をはじめ高齢者や障がい者みんなが助け合う地域防災を目指す。



発見★元気印の会社 No. 27

今月の元気印の会社は、昨年本市と立地協定を締結し、7月に開所予定の「株式会社NIC八代コンタクトセンター」です。



《会社概要》

株式会社
代表取締役
所在地
HP
従業員数
事業内容

株式会社NIC八代コンタクトセンター
曾根 邦夫
八代市旭中央通 3-11 TS ビル 5F
☎ 0120 - 900 - 670
<http://www.nic-yatsushiro.jp/>
10人 (7月入社予定含む)
コンタクトセンター事業



社員の声

- ・笑顔が多く、皆で助け合い成長していける職場です。新しい環境で、新たなオフィスで皆さんと一緒に仕事ができるのを楽しみにしています。(スーパーバイザー・男性・30代)
- ・研修が充実しているので未経験でも安心して仕事ができます。お客様から感謝のお言葉をいただいたときに非常にやりがいを感じます。(トレーナー・女性・30代)



社長メッセージ

当社はこれまで培ってきたコールセンターのノウハウを生かし、各地でコンタクトセンター事業を展開しています。特に社員・スタッフの育成に力を入れており、この実績に基づく「教育」が私どもの強みです。



新たな雇用によって八代市の発展に貢献し、新しい発想で皆さまに喜んでいただける会社を目指します。